

製品名: BAG2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86373**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:24 kDa; Observed MW:24 kDa

抗原情報

遺伝子名	BAG2
別名	BAG-2; dJ41711.2
遺伝子 ID	9532
SwissProt ID	O95816
免疫原	ヒト BAG2 の合成ペプチド

背景

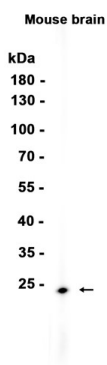
BAG タンパク質は Hip と Hsc70/Hsp70 ATPase ドメインへの結合を競合し、基質の放出を促進する。全ての BAG タンパク質は C 末

端付近に約 45 アミノ酸からなる BAG ドメインを有するが、N 末端領域は大きく異なる。予測される BAG2 タンパク質は 211 アミノ酸からなる。BAG1、BAG2、および BAG3 の BAG ドメインは、in vitro および哺乳類細胞において Hsc70 ATPase ドメインと特異的に相互作用する。これら 3 つのタンパク質はすべて Hsc70 の ATPase ドメインに高い親和性で結合し、Hip による抑制下でシャペロン活性を阻害する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



BAG2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。